



2023年9月26日
第37号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「2023年3月ダイヤ改正検証に関する 申し入れ」(申6号・横浜運輸区)

【運転士】

1. 運転士の大田運輸区構内泊りに関して、入区ならびに出区がないときには、運輸区泊りにすること。
具体的には、大田運輸区構内泊まりの平休418、平休428、休休428は構内に泊まる必要がないため、大田運輸区(本区)泊まりとすること。
2. 他区泊りの明け場面において、構内からホームまで歩く場合は緑出区にすること。
3. 出区時分を見習いと同じ30分にすること。
4. 翌平427明け、朝の食事時分のバランスを考えること。具体的には、平平427、休平427ともに起床後の休憩が40分未満の1回であり、ここで朝食が取れないと4時間何も食べれないため、最初の休憩を40分以上確保すること。

【車掌】

1. 328行路の睡眠時間が少ないため、明けを蒲田以南のみとするなど、軽くすること。
2. エンド交換の時分を6分以上にすること。(パン等、車両状況確認や機器整備で余裕がない)
3. 田町北行は合図をもらうため、山手線内回りと同分同秒発をなくし、30秒以上空けること。
4. 睡眠時間確保のため、着発6時間以上にすること。
5. 快速時間帯、東京南行を2ポツにして、発車時間を下げ、浜松町で山手線と接続できるようにすること。
6. 325行路明け場面、桜木町にて本来接続の取れない818Kが追い付くため、818Kを横浜にてポツをつけて、発車を下げること。
7. 横浜駅北行のスピーカーの設置位置を見直し、駅社員からの業務放送が聞こえるように改善すること。
8. 横浜駅北行の車掌停止位置付近の隙間を解消し、安全対策を講じること。

交渉日程は決まり次第、情報でお伝えします！